

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 議会選挙結果の再集計

・15日、中央選挙管理委員会は、再集計を開始。共産党は、同党代表者による再集計確認への立会が拒否され再度多数の違反が犯され、再集計は失敗に終わったと中央選挙管理委員会を非難。

・18日、中央選挙管理委員会は、再集計結果を発表。再集計によって生じた誤差は僅かであり、6日に発表された議席配分(共産党42議席、自由民主党32議席、民主党15議席、自由党12議席)への影響は無し、投票率は63.37%。

#### 連立形成に向けた動き

・12日、ルプ民主党党首は、自由民主党及び自由党との協議より共産党との協議の方が進展しているとしつつ、再度の議会解散を防ぐバランスのとれた政府を成立させるために、協議において妥協はしないと発言。

・13日、ルプ民主党党首は、共産党の連立を阻止するため、自由民主党が民主党に圧力をかけていると非難。これに対し、ゴーチャ自由民主党第一副党首は、そのような証拠は無いと反論。自由民主党は大統領直接選挙への変更を支持し、民主党が支持する共産党発案の議会過半数による選出を可能とする選挙法改正には反対と発言。

・13日、フィラト首相は、閣僚のポストは各党の選挙における得票率に応じて配分されるべきと発言。これに対し、ギンブ大統領代行は、利益が全て首相に還元されるような連立に参加する意義は無いと発言。

・14日及び16日、自由民主党、民主党、自由党の代表者が協議。幾つかの点において合意に達したと発表したが、次回の三者協議の日程は未定。

### 2. 経済

#### 経済一般

・14日、財務省は、IMF及び世銀等の国際機関の勧告に従い、モルドバ政府が国際的な税システムをモルドバに導入するための戦略的計画文書を承認と発表。

・16日、国家統計局は、11月の工業生産高は、前月比6.8%増加と発表。

#### 対モルドバ支援

・13日、フィラト首相は、ブゼク欧州議会議長との共同記者会見において、EUがモルドバに対し9,000万ユーロの支援を実施予定であり、近日中に協定に署名予定である旨発表。

### 3. 外政

▼16日、フィラト首相の欧州人民党大会出席(於ブリュッセル)

・フィラト首相は、ファン・ロンパイ欧州理事会議長と会談。モルドバ政府による2010年の達成事項、議会選挙後のモルドバ情勢につき協議。ファン・ロンパイ欧州理事会議長は、11月28日に実施されたモルドバ議会選挙が全ての民主的規定に則っていた旨発言、AELにより開始された改革が継続される必要性につき言及。

・欧州人民党大会に主席したフィラト首相は、メルケル独首相、ベルルスコーニ伊首相、オルバン・ハンガリー首相、ボリスフ・ブルガリア首相、ブゼク欧州議会議長らと議会選挙後のモルドバ情勢等につき意見交換。

#### ▼その他

・16日、ビルト・スウェーデン外相は、先般のナルイシュキン露大統領府長官のモルドバ訪問について、EUは安価なガスよりもモルドバにとって有益な連合協定を提示している旨発言。

・17日、フィラト首相は、EUは査証廃止のための行動計画を承認しており、近日中にマルムストロムEU内務担当委員が行動計画を手交するためモルドバを訪問する予定と発言。

### 4. 沿ドニエストル

#### 議会選挙の結果

・13日、中央選挙管理委員会は、選挙結果を発表。最大政党である「革新」党支持の候補者は、43議席中26議席(3議席増)を獲得。スミルノフ「大統領」は、投票率が低かった点に関し国民・議員間の更なる関係構築が必要と発言、議会選挙を比例代表制に変更する選挙法改正には反対である旨表明。

#### その他

・13日、アシュトンEU外務・安全保障上級代表は、東方パートナーシップ外相会合においても、EU外務理事会においても、EUが沿ドニエストル問題解決プロセスの積極的参加者となり交渉において前進を達成することの重要性が強調されなければならないと発言。

・17日、沿ドニエストル当局は、本年4月にスパイ容疑で逮捕・拘束されたヴァルダニヤン記者に懲役15年を命令。オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、同行はモルドバ国家及び国民の安全を脅かし、両岸の信頼醸成に向けた努力を損なうものと非難。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)